

令和5年度後期入試 医学部医学科小論文

<出題意図>

課題文は、「利他」について、当初提唱された時の概念から、合理的利他主義、効果的利他主義について解説している。

問1 解答例 （自分の考えを論理的に表現出来るかを問う。）

例えば全盲、吃音、四肢切断などの障害を持った人を、手取り足取り助けることにより、まだその人ができることまで奪ってしまうことがある。「困っている人のために」という周囲の思いが本人の自立を妨げ、結果として、まったく本人のためになっていないことがある。障害がある人に対して、何らかの手を差し伸べる際には、その人に残された能力を維持、発揮できるような配慮が必要と考える。

問2 解答例 （必ずしも本文の内容に即している必要はなく、論理的に自分の意見を表現出来るかを問う。）

共感にもとづく利他は、自分の経験や、想像できる範囲内の発想からしか生まれない。従って、普段出会うこともない遠い国の人や、そもそもその存在を意識していない問題に関心を持つことすらもないので、国際的問題、さらには地球規模の危機について、利他的行動に至る可能性は低くなる。また、相手やその問題に対するネガティブな感情や無関心は、利他的行動には至らないことになるため、社会的に弱い立場にある人々にとっては、「共感を得られないと他人から助けてもらえない」という、更に窮屈な社会となる問題が生じる。

問3 本文の内容を適切に理解し、賛成・反対の意見を論理的に表現出来るかを問う。

問4 本文の内容を適切に理解し、自分の考えを論理的に表現出来るかを問う。